

# 24年度予算（一般・特別・企業会計をあわせて）

# 総額440億 3,449万円

一般会計 242億 800万円  
 特別会計 175億 7,528万円  
 企業会計 22億 5,121万円

★財政課 ☎ 1163



本庄市長  
吉田 信解

平成24年度は、本市の将来像「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち 本庄」の世のため、後のため」の実現に向け、市民のみならず一人ひとりが郷土に魅力と誇りを持ち、活力と笑顔にあふれ元気に活動できるように、まちづくりに魂を込めて、市行政一丸となって頑張っていくので、みなさんの一層のご支援とご協力をお願いします。

**「行政経営に関する基本的な考え方」**

現在の日本経済の先行きは、東日本大震災の影響や世界経済の減速、戦後最高水準の円高などにより極めて不透明です。また、人口減少や超高齢化社会の到来、地球環境問題、国や地方における厳しい財政状況等を踏まえ諸課題に対応していく必要があります。

本市はすでに平成20年度から、右肩上がりでない時代に持続可能な社会をどうつくるか、ということを総合振興計画のテーマに掲げています。市民のみならずとの協働により、将来にわたって持続可能な社会をつくるという考え方は、本庄

市だけでなく日本全体として正しい方向性であると確信しています。

過去の右肩上がりの時代の既得権益や制度を見直さなければ新しい時代の扉は開きません。新しい時代へ向け、市民のみならずの信頼を得るなかで各種施策の推進に積極的に取り組んでいきます。

**「予算編成の基本的考え方」**

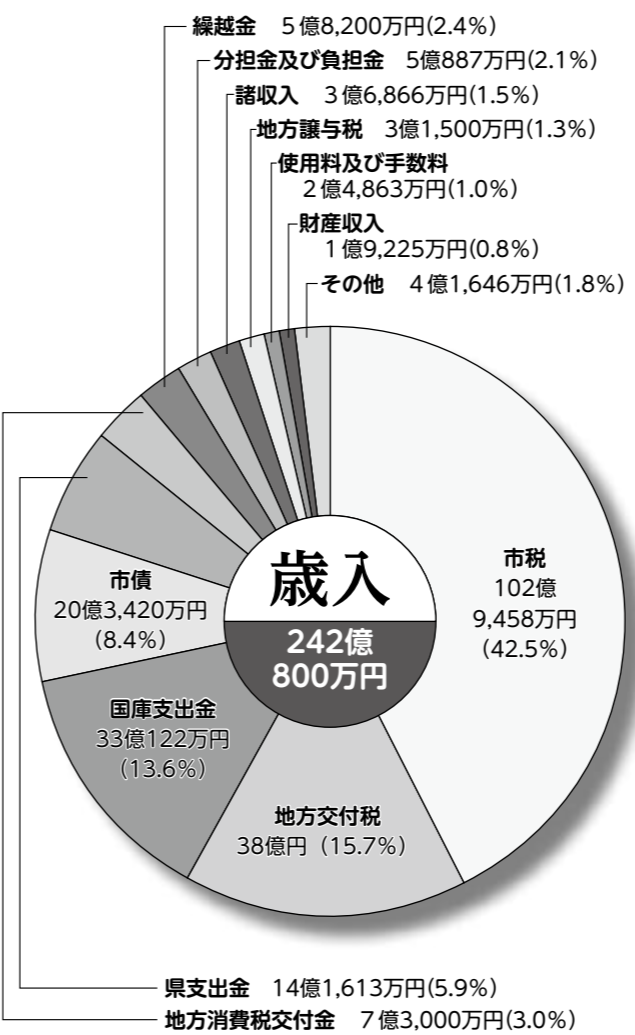
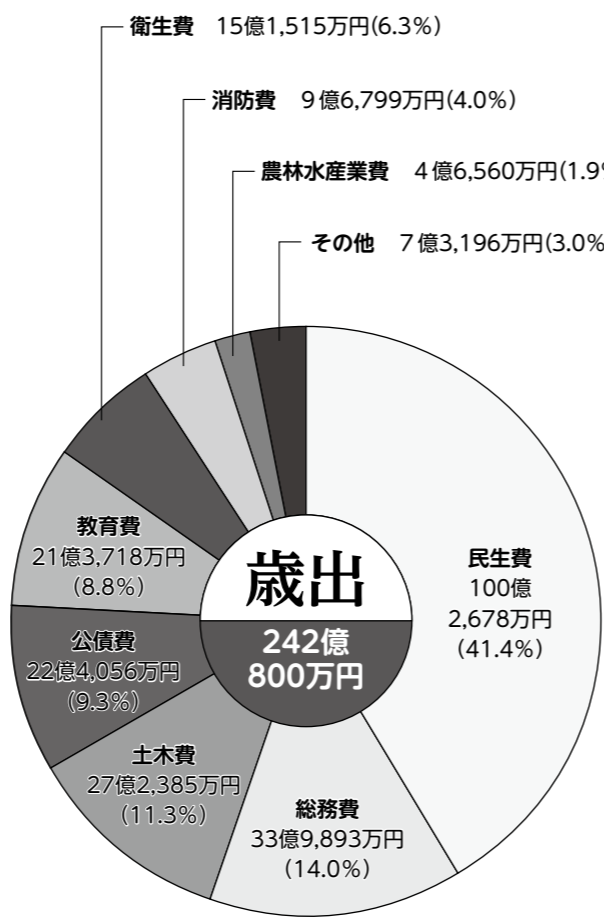
本市においては、民生関係経費の伸びや老朽化している公共施設等の維持などに係る経費の増大に対し、自主財源である市税収入が伸び悩みの状況であり、依存財源である国からの地方交付税や臨時財政対策債に大きく頼らざるを得ない状況にあります。

このように、依存財源に頼って成り立っている本市の財政状況は、極めて脆弱であることを強く認識し、今後の財政運営を行う上で必要があると考えます。

平成24年度の予算編成は、このような状況を踏まえ、本市市総合振興計画の基本構想に掲げられた将来像の実現に向けて、各政策分野のそれぞれの課題に、限られた財源を効果的・効率的に配分しました。

なお、財政の健全化については、真に必要な事業は、市にとって有利な合併特例債の有効活用を図りつつも、市債の借入と返済のバランスを考慮し、引き続き市債への依存の抑制に取り組んでいきます。

## 一般会計 予算の構成

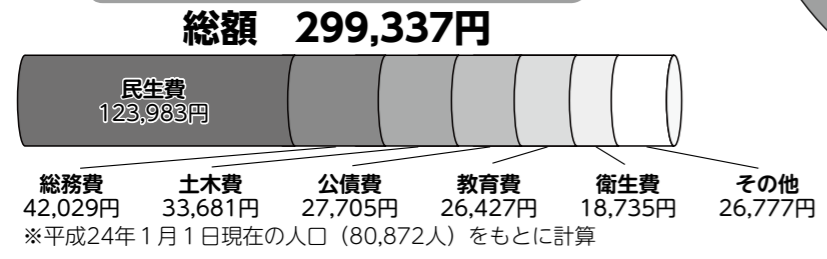


| 年度     | 予算額         |
|--------|-------------|
| 平成24年度 | 440億3,449万円 |
| 平成23年度 | 442億8,750万円 |

| 区    | 分               | 予算額         | 増減率    |
|------|-----------------|-------------|--------|
| 一般   | 一般会計            | 242億800万円   | △3.5%  |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計      | 93億5,838万円  | 8.7%   |
|      | 公共下水道事業特別会計     | 21億6,251万円  | △6.2%  |
|      | 住宅資金貸付事業特別会計    | 655万円       | △28.2% |
|      | 児玉南土地区画整理事業特別会計 | 2億5,479万円   | 6.9%   |
|      | 農業集落排水事業特別会計    | 1億5,045万円   | 44.1%  |
|      | 介護保険特別会計        | 49億8,907万円  | 11.7%  |
| 企業会計 | 後期高齢者医療特別会計     | 6億5,353万円   | 8.4%   |
|      | 水道事業会計          | 22億5,121万円  | △21.7% |
| 合    | 計               | 440億3,449万円 | △0.6%  |

※水道事業会計は、収益的支出及び資本的支出で集計

### 市民1人当たりに使われるお金※



### 市民1人当たりが負担する市税※

